

研究主題 「深い学びの実現に向けた学習過程の工夫」～数学科を軸とした各教科における見方・考え方を働かせた授業づくりを通して～

単元を貫く問い 世界に1つの私だけの印鑑をつくるには? ～「イメージする・削る・彫る・磨く・使う」の活動を通して～

この単元に関連した領域の付いている力(◆)と内容(●)

【第6学年まで】

- ◆材料に触れて感じた自分の思いを基に、材料の塊に向き合い、どのような形がよいか自分で考えながら工夫してつくる力。
- ◆自らのやり方や意味を見いだしていくとともに、他者の表現を認めることができる力。
- ◆手と用具の使い方を工夫して、表現を深めることができる力。
- ◆友人とできた形を見合い、よさや工夫を伝え合う力。
- ◆材料を活用しながらつくる力。
- ◆生活の中で使うことができるように、目的や用途などを考え、作りたいものを図に表すなどして計画を立てる力。

・ほり出した形(粘土)
・1枚の板から(工作)

【第1学年及び第2学年】

- ◆自然物や身の回りの材料から楽しみながら発想する力。
- ◆素材の形をいろいろな角度から観察し、何かの形に見立てたり、素材を組み合わせて発想する力。
- ◆対象のもつ特徴や質感を感じ取るとともに、試行錯誤しながらより効果的な表現方法を探究する力。
- ◆偶然にできる形や色の効果を生かす力。

・見つけた、触れた、ひらめいた!
・形と色の挑戦

美術的活動

印鑑の歴史や意義・使われ方に着目し、自分自身の印鑑をデザインする 活動

使いやすさや、美しさから握り部分の形を考え、意見交流を通して展開図に表す 活動

加工する過程や場所に依じて道具を選択し表現する 活動

自他の作品を鑑賞して、見方や感じ方を深める 活動

問題 自分だけの印面をつくるには?【5時間】

印面のデザイン・彫り・押印

●単元の目標確認(1時間)

- ・単元の流れ確認する
- ・てん書について知る
- ・印面の形を考える
- ・デザイン化する

●石材に写し彫刻・押印(4時間)

- ・デザイン化したものをトレーシングペーパーに写し取る
- ・耐水ペーパーで石材を磨く
- ・トレーシングペーパーを反転し、石材との間にカーボン紙を挟み転写する
- ・てん刻刀を使用し、凹部を彫る
- ・ワークシート及び学級シートに押印する

問題 自分だけの鈕をつくるには?【6時間】本時1/6

鈕(握り部分)のデザイン・彫り・磨き

●鈕のイメージづくりをする(本時)

- ・具象形と抽象形について知る
- ・油粘土で造形する
- ・作品を見合う
- ・ワークシートにイメージを表現する

●鈕の彫り・磨き(5時間)

- ・展開図に起こし、石材に写す
- ・彫刻刀や棒やすりで彫る、削る
- ・小刀や耐水ペーパーで形を整え、トレーシングペーパーでツヤを出す

問題 自分らしさを分かち合うためには?【1時間】

鑑賞・まとめ

●取り組みを振り返り、他者の作品を鑑賞する

- ・印面のデザイン化や鈕の抽象デザインで工夫した(意図した)点や難しかった点などを振り返る
- ・それぞれの作品について鑑賞し、造形的なよさを出し合う

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うこと。

単元終了時のめざす生徒の姿

- ・日常生活の中で身近なものに興味を持ち、自分の価値意識を持って味わうことができる。
- ・美的感覚を働かせて、形や図柄、光などの組み合わせを簡潔にしたり統合化したりするなどして、構成や装飾を考え表現することができる。

思考力・判断力・表現力等

使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

知識及び技能

造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。

評価規準

【思】
・印面の形に合わせ、使う目的や条件などを基にバランスよくデザイン化している。

【知】
・材料の特性を基に全体のイメージで捉えることを理解している。

【主】
・使いやすさや美しさなどを総合的に考え、構想を練り、意図に投じて創意工夫し見通しをもって表す学習活動に取り組もうとしている。

【思】
・使いやすさや美しさを考えて構想を練っている。

【知】
・材料の特性を基に全体のイメージで捉えることを理解している。

【技】
・表現方法を工夫し、制作の順序などを総合的に考え、見通しをもって創造的に表している。

【主】
・造形的な美しさや使いやすさを感じ取り、話し合っている。

【思】
・表現の意図や創造的な工夫などについて考え、美意識を高め見方や感じ方を深めている。

見方・考え方を働かせている姿

- ・朱文や白文、枠の形や文字のパターンから、自分独自のものをつくりだそうとする姿。
- ・てん刻刀で石材を彫り、自分のイメージに近づけようとする姿。

- ・具象形と抽象形の意味や考え方を、造形的な視点から捉えようとする姿。
- ・使用すること(印としての機能)を意識し、「手になじむ形」「壊れにくい形」をイメージする姿。
- ・デザインの形にあわせて使用する道具を選択し、「彫る」「削る」「磨く」姿。

- ・自分や仲間の作品から、形としての美しさや工夫している点を感じ取り、自分としての価値づけや意味付けを発表したり、文章表現する姿。

生徒の実態と指導観

アンケート調査によると、美術を好きな生徒は多く、「美術が好き」「やや好き」と答えた生徒が1学期末に89%、2学期末になるとさらに増えて94%になった。普段の授業でも落ち着いて熱心に取り組む姿がみられ、意欲を感じる。しかし少数ではあるが表現することに苦手意識を持ち、作品の進み具合が悪かったり、提出が遅れがちになる生徒も何名かいる。この学年は1年次に木彫でレリーフを制作しているので、木彫りによる立体感の表現は少し学習している。今年は3年生ということもあり、中学校3年間の集大成にこの石の彫刻を選んだ。2学期中ごろから始めたてん刻は、自分の名前を印面に刻み、押印するところまでを終えている。握りの部分は各自の思い入れやイメージを形にしたものを、3次元で表現する。2次元の絵で表現するより難しいが、イメージの仕方や展開図の描き方を丁寧にわかりやすく指導し、個性豊かで思い出に残る作品に仕上げてもらいたいと考えている。

【本時の目標】 使いやすさや美しさを考えて構想を練り、イメージを抽象形で表すことができる。 (本時 6 / 12)

【本時における造形的な見方・考え方】 「単純化・誇張・加工(切断、切削、変形)」といった方法からイメージを膨らませる。



◎深い学びを実現するための「問題」と「めあて」の工夫
 本単元は、社会生活に根差した「印鑑の文化」を背景に、自分独自の印鑑を制作していく。印面のデザインと彫りは平面的な思考であり、握り部分のデザインからの彫刻はさらに3次元の立体的な思考へと発展していく。単なる彫刻に終わらせず、印鑑として使いやすく(握りやすい・押しやすい)、形として美しいデザインを考えさせることを「めあて」とし、鈕の形を決定していく「問題」につなげていく。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て
 印鑑としての機能・使いやすさをどう意識させ、形や素材の特徴をどう捉えさせていくかをICTでわかりやすく解説する。特に抽象形のデザインをさせるので、多面的なアプローチが必要である。また、平面的な思考だけでは限界があるので、油粘土を使用した立体的な思考により、よりリアルなイメージが展開できると考える。さらに、グループ内で仲間の作品の良さを発見し、自分の発想のヒントにつなげていきたい。

バール席・忘れ物	
学習	
片付け	

まとめ
 ・抽象形にすることで、よりシンプルな形にできる
 ・粘土を使用することでより具体的にイメージできる



T 2学期に印面を彫って、押ししました。いろんなデザインがあって興味深かったですね。実際に自分の作品などに押ししてみましょう。ただ、これで終わってはもったいないので、握り部分の形も彫刻します。握り部分を「鈕」と呼び、立体として成型できます
 どのような形ができると思いますか?
 S 刀
 S 雪だるま
 S 普通に円柱の印鑑の形
 T では今日の「問題」です何でしょうか?
問題：鈕はどんな形にする?
 T まだ書きません (スライドで具象形と抽象形の説明)
 T ではここで問題。社会科の歴史で学習した日本最小の国宝である「金印」。これは具象形ですか?それとも抽象形でしょうか?
 S 抽象 S 具象。蛇の形 S わからん

T これは蛇が「とぐろ」を巻いた形だといわれています。これが頭で、丸い模様がたくさん彫られています
 ということで、具象形ですね
 ですが、これは印としては持ちにくく、握りにくく、押しにくいです(レプリカを使って押ししてみる)
 T 今回は創造力を働かせる「抽象形」にチャレンジします
 どのような抽象形にすればいいと思う?
 S きれいな抽象形 S 個性的な形 S 押しやすい形
 T よく考えてくれました。「めあて」は
めあて: 使いやすくて美しい抽象形を考えよう
 です。問題とめあてを「振り返り用紙」に記入しましょう
 では、実際に抽象形を考えるにあたって、どんな形が使いやすく、美しいのでしょうか?もう少し作品を見てみましょう
 (スライド、ループ状の作品から) 台座の上にどんな形が乗っていますか?
 S ヒモみたいなもの S くるっと丸い形
 T そこが美しい形、工夫されているところですね。テーマは「回転」です。単にUの形だけではそれ程美しくも面白くないのですが、ひねりを加えたり、角柱から円柱になって回り、また角柱にする工夫もあります。また曲線も美しく、天辺が丸まっているので押しやすそうですね

S 上が丸い方が押しやすい形なんですか?
 T そうだね。2学期には鈕を彫ってないので四角いまま印を押ししましたが、押しにくくなかったですか?
 S 角が手の肉に食い込んで痛かった
 T では、どうすればいい?
 S 一番上は角ばってない方がいいかも
 T では実際に課題を考えながら、抽象形を発想する練習をやっていきましょう。イメージを発想するときにはこんなものを使います(粘土の説明)
 机の中の油粘土を出して下さい。印鑑の石とほぼ同じ量の粘土です。台座を1cmほどの高さにつくります。その上に「上昇」をイメージした形を立体図形を自由に使って作ってください。図形は切ったり曲げたり組み合わせたり、自由に加工して下さい。ここで作った粘土の形で石を彫るというわけではありません(10分間)
 では班の形にして下さい。仲間の作品を見て、面白いとか、美しいとか、押しやすそう、と思うところを班で見つけ合ひましょう(5分間)では、発表できるところはありますか?(作品は前のカメラで映す)
 S OOくんの作品ですが、□□の部分の形が美しいと思います
 T そうですね。面白い発想だとも言えますね(更にいくつか紹介)
 S △△さんの作品は、きれいだけど押しと折れそうです
 T そう。強度も大切です。TVを見て下さい(強度の補足説明)

T 個性的な作品がいろいろありましたね。参考になる形はありましたか?
 では席を戻して下さい
 振り返りシートの裏にイメージを記録するようにしていますので、自分で発想したり班で共有したことなどをまとめながら描いて下さい
 描けない人は写真で記録します(5分間)
 どうですか?美しく、使いやすいような形になりましたか?
 T (時間があればワークシートや粘土作品を紹介し、発想になる部分を聞いていく)
 T それでは、本日のまとめをします。今日は鈕の形の考え方を立体図形を使って抽象形にする学習をしました。
 抽象形にすることで、何か良かったことはありますか?
 S 抽象形にするとシンプルな形になった
 T 粘土を使ったことについてはどう?
 S 粘土を使うと、考えがまとまりやすい
 T では、今の2点をまとめにします。
 残りの時間、今日の感想を振り返りシートに記入して下さい
 次回はイメージの続きから展開図の作成をおこなっていきます
 今日の授業評価は、OOだったので□□です

<指導上の留意点>
 ・握りの部分を「立体彫刻」することを理解させる
 ・具象形と抽象形の違いを理解させる

<指導上の留意点>
 ・抽象形について理解させる
 ・社会科で既習の「金印」について触れる

<指導上の留意点>
 ・美しさには連続性や規則性、シンプル性もあげられることを理解させ、直線・曲線、円柱や角柱、球などの幾何学形からも発想させる
 ・粘土を使うことの有意性を理解させる

<指導上の留意点>
 ・生徒の粘土作品や描いた抽象形の中からいくつか選び、イメージしたものを発表させ共有する
 ・次回、イメージした形を展開図に起こすことを伝える

評価規準		【思考・判断・表現】 ・使いやすさや美しさ、面白さを考えて構想を練っている	
------	--	------------------------------------------	--

※ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業においては、学習指導要領(平成29年3月告示)に基づいた授業づくりを行っているため、育成すべき資質・能力の3本柱による目標及び評価を設定しています。